

シャチのショーは最高だ！

観魚虎而泣

猛暑、酷暑の夏に唯一の楽しみが私には有る。それは鴨川シーワールドに行くこと。隅田川花火大会の翌日、見物に疲れ切った100万人の人間が眠っているのを幸いに、朝6時出発、アクアラインをスイスイ渡り、君津からひと山越えると90分で鴨川シーワールド駐車場に到着。開門まではまだ90分と時間が有るが、コンビニで買ったおにぎりを片手に堤防に座って海を眺めるのは乙なものだ。トイレに行ったり、水濡れ対策にビーチサンダルに履き替えたり、準備万端整えると体はすっかりリラックス。我知らず車で寝てしまった。目を開けると開門時間が5分も過ぎていて、急いでゲートに行くと人はまばら、すでに開門待ちをしていた人々は入場してしまったようだ。まあ良い、まあ良いと心に唱え、悠々とチケットを購入し何事もなかったように肩を揺らして入場する。目指すはシャチのショーが行われるオーシャンスタジアム。10時開演だが30分前には到着しなくては狙った席には座れない。後30分弱、時間は有る。ゲート脇の川の源流から海までの環境を再現した、水族館に良く有りがちなエリアを横目に通過し、大好きなカエルや水カマキリやイモリの展示はじっくりと観察し、忘れてはいけない房総名産のマンボウをオドヤ（房総のスーパーマーケットではよく切り身が売られている）では今の値段は如何程かと妄想し凝視し、400円のポンチョを購入。熱中症予防にイチゴかき氷を買い、イルカの

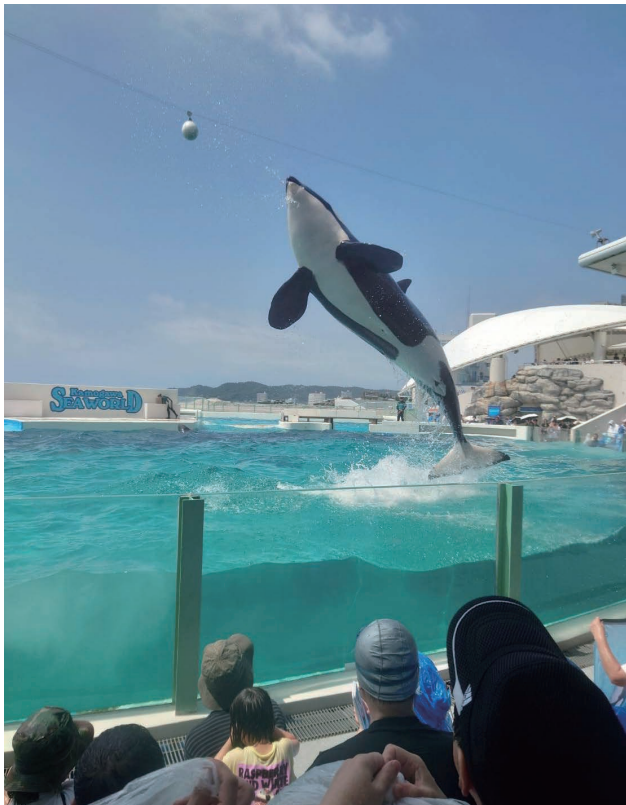


おにぎりを片手に堤防に座って海を眺める

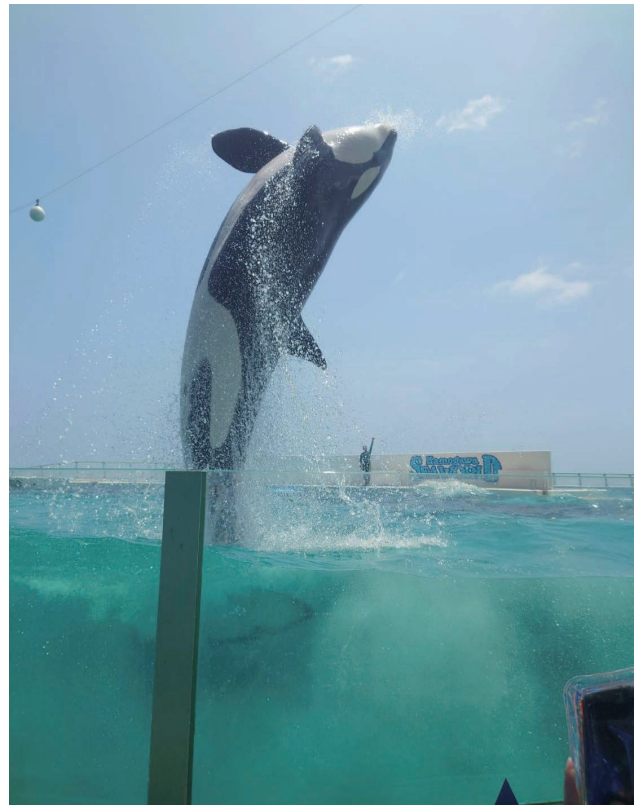


トレーナーの合図で大ジャンプ

ショーが行われるサーフスタジアムは足早に通過し、オーシャンスタジアムに到着。もう既に結構席取りしている人が多く、席に荷物が置かれているがまだ席に余裕が有り、狙っていた前から3列目の席に陣取る。海の生態系の頂点に立つ海の王者シャチのショーの開演を心静かに待つ。プールを悠々と泳ぐ巨大なシャチを眺め、フライドポテトやポップコーンの売り子さんを冷やかしながら、傘を差しちゃダ



空を舞うシャチ



恐怖と期待でキュンキュン

メ、通路に座るのは禁止、席取りには必ず1人は残ってください等のアナウンスを楽しんでいると、すぐに時間は経過し開演5分前。スマホを去年買った防水スマートホンケースに入れ、今日買ったポンチョを着てスタンバイ完了。シャチのショーが始まった。トレーナーのお姉さんが颯爽と手を振り上げシャチに合図を送るとシャチが猛スピードでプールを泳ぎ大量の海水まき散らし、それを浴びた観客が歓喜の悲鳴を上げる。シャチに乗ったトレーナーがプールに飛び込み潜水すると、シャチが口先でトレーナーの足を海中で押しトレーナーが海中から飛び出し空を舞う、シャチが大ジャンプのうえ1回転し尾鰭で空中のボールを見事に蹴る、ショーが熱気を帯びてくるとシャチが観客の前で頭を海中に没し逆立ちして尾鰭を海中から突き出しひらひらさせる。(恐怖と期待でキュンキュン)シャチが巨大な尾鰭を容赦なく振ると大量の海水が客席を襲う。ナイアガラの滝で滝行するがごとく頭からものすごい量の海水を浴びると大暑猛暑酷暑も何のその、日ごろのストレスもすっかり洗い流される。感動で心を震わせていると、胸の前の去年買った防水ケースに入れているスマートホンがビビッと震え、画面がパチパチ、防水ケースを見ると中に海水が沁みていた。



大量の海水を浴びる動画